

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
38-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	02	01
細事業名	行財政改革推進費					

担当部局	財務部
担当課等	行財政改革推進課
担当課長の氏名	中西 和義
担当者の氏名	河田 英雄

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の更なる発展と持続可能な行財政運営の推進を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民とともに進める地域経営 市民からみた行政満足度の向上 市民のための財政健全化

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 全体の取組み:京丹後市行財政改革推進計画を基に行財政改革に取り組むとともに、計画どおり進められているか進捗管理を行った。また、平成21年度末をもって第1次行財政改革推進計画の目標年度が終了したため、第2次京丹後市行財政改革大綱及び行財政改革推進計画を策定した。 課としての取組み(個別):担当課による全事業の事務事業評価に加え、内部評価及び外部評価により4つの施策評価を今年度から行った。また、市の仕事に対して、市民満足度調査を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 全体:推進計画の21年度実施項目中、107項目の実施ができた。 個別:事務事業評価の結果、82.4%が現状維持にとどまったが、一部見直しも行われた。 市民満足度調査については、結果が他に活用できるものとはならなかった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	376	財源内訳	国庫支出金	
	8	176		府支出金	
	9	158		起債	
	11	109		分担金・負担金	
	12	393		その他	
			一般財源	1,212	
事業費合計		1,212	合計		1,212

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全体:推進計画の21年度進捗率が77.5%にとどまった。 個別:事務事業評価については、大半が現状維持の評価結果となり、目標を達成するにはさらに踏み込んで評価する必要があった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	全体:推進計画の21年度進捗率が77.5%にとどまった。 個別:事務事業評価については、大半が現状維持の評価結果となり、目標を達成するにはさらに踏み込んで評価する必要があった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	全体:推進計画の21年度進捗率が77.5%にとどまった。 個別:事務事業評価については、大半が現状維持の評価結果となり、目標を達成するにはさらに踏み込んで評価する必要があった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">個別:委員への報酬や旅費が経費の大部分を占めており、経費削減は困難である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	個別:委員への報酬や旅費が経費の大部分を占めており、経費削減は困難である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	個別:委員への報酬や旅費が経費の大部分を占めており、経費削減は困難である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全体:第2次行財政改革推進計画に基づき改革を推進していく。 個別:事務事業評価は継続するが、外部評価を取り入れた施策評価に重点を置き、評価を実施していく必要がある。市民満足度調査についても、調査内容を検討し満足度が測れるものに変えていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	全体:第2次行財政改革推進計画に基づき改革を推進していく。 個別:事務事業評価は継続するが、外部評価を取り入れた施策評価に重点を置き、評価を実施していく必要がある。市民満足度調査についても、調査内容を検討し満足度が測れるものに変えていく必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	全体:第2次行財政改革推進計画に基づき改革を推進していく。 個別:事務事業評価は継続するが、外部評価を取り入れた施策評価に重点を置き、評価を実施していく必要がある。市民満足度調査についても、調査内容を検討し満足度が測れるものに変えていく必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">第2次行財政改革大綱の推進のため、現取組みの継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	第2次行財政改革大綱の推進のため、現取組みの継続が必要である。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	第2次行財政改革大綱の推進のため、現取組みの継続が必要である。			
B 現状維持					
C 事業縮小					